



大窪小の情報満載!!
【公式ホームページ】
<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1215/>

学校だより

おおくぼ

日南市立大窪小学校 令和8年〔2026年〕3月5日

校歌斉唱の一コマ



2・21 快晴の閉校式典
涙で校歌が歌えず

二月二十一日、快晴の下で大窪小閉校式が行われました。明治6年（一八七三年）の創立から地域と共に歩んできた伝統ある学び舎が、その長い歴史に幕を下ろしました。

式典には、在校生や保護者、卒業生、地域の方々など多くの参列がありました。県内外、外国在住の方も参列し、昔話が弾んでいました。

閉校式典では、校旗が高橋日南市長へ返納されました。最後に全員で校歌を斉唱しました。「涙で歌えなかった」と話す方もいらっしゃいました。

その後、記念碑除幕式、懇親会が行われました。

長年親しまれた大窪小との別れを惜しみつつも、参列した方々はこれからの大窪について考える機会となりました。



* 少子化の流れには逆らえず、大窪小の他に以下の小学校が今年3月末をもって閉校します。

日向市立坪谷小学校	宮崎市立生目台東小学校	延岡市立熊野江小学校
高原町立広原小学校	高原町立狭野小学校	高原町立後川内小学校

【はじめに】



として創り上げました。

【150年の年月を越えて】

大窪小の誕生は、明治6年（一八七三年）10月。日本が明治維新の最中にあつた時代から百五十年以上の歳月が流れました。近代化、幾多の戦争、そして戦後の経済発展。国家の歩みとともに、この学び舎でも数えきれないほどの出来事があつたことでしょう。学校に残されたわずかな記録を紐解いていくと、そこには大窪小の誇るべき四つの特色が浮かび上がってきます。

【地域に支えられた大窪小】

第一の特色は、「地域に支えられた」学校であることです。沿革史を見ると、地域の方々が物心両面にわたり、献身的に学校を支えてこられたかが分かります。その精神は今も脈々と息づいており、地域の方々との関わりが、極小規模校である本校の子どもたちに、他では得られない豊かな体験と活気を生んでいます。

地域に支えられた大窪小

大正3年 7年	大窪青年会が築成し、校長西澤徳三郎（石畳校長）
大正3年 11月	大窪小の前身高土堂行島小学校の合併により、新築（アランゴ）を竣工
大正8年 2月	学区合併で、地元の有志の寄付により校舎竣工
昭和3年 12月	神中郡若狭町と中津市と合併。神中郡大窪小の合併により、校舎1棟4教室（約1,421㎡）竣工



【保護者が団結した大窪小】

第二に、本校は「保護者が団結した」学校です。昭和50年代には保護者が団結して大規模なアスレチックを築き、60年代には中庭の石畳や花壇を整備してきました。



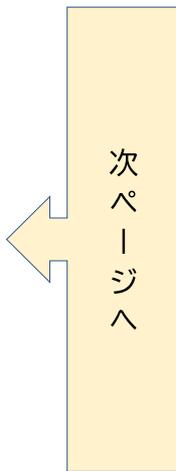
その心は今も受け継がれ、今も学校に協力を惜しまない親の姿を子どもに示しています。

【教職員が熱心な大窪小】

第三は「教職員が熱心な」学校であることです。僻地教育の推進という使命を胸に、歴代の教職員は教育に力を注いできました。平成5年の授業映像や、昭和63年の入学式の華やかな壁画・くす玉の演出。そこには、一人ひとりを主役にしてようとする教員の深い愛情と「魂」が込められていました。そうした心は今も受け継がれ、わかるまで粘り強く指導する教員の姿や、児童がともも少ない行事を盛り上げようと、にぎやかな演出



をする教員の姿があります。



【概要】 閉校式式辞：大窪の心を継承し、未来へと歩む

【子どもが頑張る大窪小】

そして第四の特色は、何より「子どもが頑張る」学校であったことです。学校沿革史や、学校にある賞状やトロフィーの数々をみますと、子どもの頑張りが伝わってきます。

<p>子どもが頑張る大窪小</p> <p>発明工夫展</p>  <table border="1"> <tr><td>平成6年</td><td>茨城県発明工夫展 優秀賞</td></tr> <tr><td>平成7年</td><td>茨城県発明工夫展 優秀賞</td></tr> <tr><td>平成8年</td><td>茨城県発明工夫展 優秀賞</td></tr> <tr><td>平成9年</td><td>茨城県発明工夫展 優秀賞</td></tr> <tr><td>平成10年</td><td>茨城県発明工夫展 優秀賞</td></tr> </table>	平成6年	茨城県発明工夫展 優秀賞	平成7年	茨城県発明工夫展 優秀賞	平成8年	茨城県発明工夫展 優秀賞	平成9年	茨城県発明工夫展 優秀賞	平成10年	茨城県発明工夫展 優秀賞	<p>子どもが頑張る大窪小</p> <p>交通安全子ども自転車競技大会</p> <table border="1"> <tr><td>昭和53年</td><td>全国7位・個人優勝</td></tr> <tr><td>昭和54年</td><td>全国大会出場</td></tr> <tr><td>昭和55年</td><td>優勝</td></tr> <tr><td>昭和56年</td><td>個人1位・2位・3位</td></tr> <tr><td>昭和57年</td><td>全国大会出場</td></tr> <tr><td>昭和58年</td><td>個人優勝</td></tr> <tr><td>昭和59年</td><td>個人1位・2位・3位</td></tr> </table>	昭和53年	全国7位・個人優勝	昭和54年	全国大会出場	昭和55年	優勝	昭和56年	個人1位・2位・3位	昭和57年	全国大会出場	昭和58年	個人優勝	昭和59年	個人1位・2位・3位
平成6年	茨城県発明工夫展 優秀賞																								
平成7年	茨城県発明工夫展 優秀賞																								
平成8年	茨城県発明工夫展 優秀賞																								
平成9年	茨城県発明工夫展 優秀賞																								
平成10年	茨城県発明工夫展 優秀賞																								
昭和53年	全国7位・個人優勝																								
昭和54年	全国大会出場																								
昭和55年	優勝																								
昭和56年	個人1位・2位・3位																								
昭和57年	全国大会出場																								
昭和58年	個人優勝																								
昭和59年	個人1位・2位・3位																								
<p>子どもが頑張る大窪小</p> <p>昭和56年「日本水泳連盟より全国表彰」</p> <p>平成4年「日本水泳連盟より学童水泳優秀校受賞」</p> 	<p>子どもが頑張る大窪小</p> <p>NHK作文館読書コンクール</p> <table border="1"> <tr><td>昭和53年</td><td>個人1位</td></tr> <tr><td>昭和54年</td><td>個人1位</td></tr> <tr><td>昭和55年</td><td>個人1位</td></tr> <tr><td>昭和56年</td><td>個人1位</td></tr> <tr><td>昭和57年</td><td>個人1位</td></tr> <tr><td>昭和58年</td><td>個人1位</td></tr> <tr><td>昭和59年</td><td>個人1位</td></tr> </table>	昭和53年	個人1位	昭和54年	個人1位	昭和55年	個人1位	昭和56年	個人1位	昭和57年	個人1位	昭和58年	個人1位	昭和59年	個人1位										
昭和53年	個人1位																								
昭和54年	個人1位																								
昭和55年	個人1位																								
昭和56年	個人1位																								
昭和57年	個人1位																								
昭和58年	個人1位																								
昭和59年	個人1位																								

交通安全子ども自転車競技大会では、県代表として全国で戦い、NHK作文朗読コンクールでは、県ナンバーワンの作文朗読校として活躍し、発明工夫コンクール

では平成9年に科学技術長官賞を受賞、水泳では2度にわたり全国表彰されるなど、学校全体が輝く頑張りが光りました。



そうした頑張る心は、今、形を変え、少ない人数でこれまでになかった未知なるものに挑む姿に受け継がれています。昨年度から地区合同運動会を開催しています。近年、大窪小で行われなかつた運動会。しかも地区合同ということで、運動場の整備や道具



このように、大窪小学校とは、子どもが頑張る、保護者が団結し、教職員が熱心で地域に支えられた学校です。改めて、これまでの子どもたち、保護者、教職員、地域の皆様に感謝します。本当にありがとうございました。

大窪小学校は3月31日をもって閉校します。4月から、大窪小学校を再現することはできません。残念です。

【閉校を「再現」する三つの力】

私事で恐縮ですが、かつて私は西米良村の村所小学校に勤務しておりました。当時、過疎化のため、5校閉校していました。平成14年、私は村民向けの学習発表会で、担任していた3年生と共に、閉校した学校を劇で「再現」する試みを行いました。



閉校した学校の卒業生も、25年ぶりに元氣よく歌いました。ほんのひとときではありましたが、閉校となった学校を再現できました。なぜ閉校となった学校を再現できたのか、そこには三つの要素がありました。



記録：校歌の楽譜や写真といった確かな証拠。
 記憶：卒業生や地域の皆さんの心に刻まれた想い。
 気力：その価値を次世代に伝えたいという強い意志。

【閉校とは、新たな始まり】

大窪小での「学び」や「心」のエネルギーをどう次へ繋げるか。私共は学校に残る写真・映像を色あせないデジタル記録として残しました。気力があれば、記録を基にAIを使って学校の様子をデジタル空間として再現できるかもしれません。閉校とは終わりでなく、新たな始まり。これからの大窪小は、大窪小に深い縁をもつ皆さまに委ねられています。



児童の言葉

【全文】



児童代表として、大窪小最後の卒業生となる杉田悠篤さん、安田結々さんが思いのこもった発表をしました。

令和8年、2026年の春。私たちの大窪小学校は、152年の歴史に幕を閉じます。



振り返れば、この校舎には数えきれないほどの笑い声と、たくさんの思い出が刻まれています。本日は、私たちが過ごした大切な日々を振り返り、感謝の気持ちを伝えたいと思います。大窪小学校が誕生したのは、今から152年前の明治6年のことでした。



当時は今よりもずっと児童数が多く、地域の方が力を合わせてこの学校を支えてくださったと聞いています。



卒業生の数は、全部で1851名。この地域を支えるたくさんの方々が、ここで学び、巣立っていかれました。私たちが入学したのは、6年前のことです。ちょうど、世界中に新型コロナウイルス感染症が広がり、日本中の学校が臨時休校をしている時期でした。



そのような中、始まった学校生活。今日まで過ごせたのは、大窪小には「3頭のぞう」がいるからです。

「1頭目のぞうは、大窪小に通う私たち「がんばるぞう」。
この1年、たった2人でがんばりました。2人ではできないことや大変なこともたくさんありましたが、私たち「がんばるぞう」は協力して乗り越えてきました。



前ページから続く

そして、2頭目のぞうは、「ささえるぞう」です。

6年間、毎日楽しく学校生活が送れたのは、お父さん、お母さん、先生方が支えてくれたからです。

お父さん、お母さん、たくさんのお愛情で私たちを育ててくれてありがとう。



先生方、勉強だけでなく、昼休みも毎日遊んでくださり、ありがとうございます。6年間の思い出の中には、いつも「ささえるぞう」が寄りそっています。



3頭目のぞうは「みまもるぞう」。大窪小を巣立った先輩たちや地域の皆さんです。



昨年の11月、たくさんの方が集まった最後の運動会は、大窪団結で大成功でした。また、毎日の登校中、私たちを見つけると「おはよう」といつも手を振ってくださいました。私たちは、地域のみなさんの「みまもるぞう」に見守られ、いつも温かい気持ちでした。



毎日、学校を支えてくださった皆さん。朝早くから、私たちの安全を見守って下った地域の方々。

私たちや1851名の先輩方を厳しく、温かく導いてくださった先生方。そして、いつも一番近くで応援してくれた、お父さん、お母さん方。本当にありがとうございました。



桜が満開のころ、この校舎に私たちの声が響くことはありません。



でも、寂しくはありません。大窪小学校で学んだ誇りは、私たちの心の中にずっと生き続けるからです。

これからも私たちは、「大窪小学校の子」として、力強く歩いていきます。

ありがとう、大窪小学校。さようなら、大好きな私たちの学び舎。



大窪小閉校式の様子がインターネット動画で公開



日南テレビ!

152年の学び舎で閉校式 児童2人の大窪小で校旗返納

2026年2月21日配信



【公式】宮崎ニュース UMK YouTube

「さようなら大好きな私たちの学び舎」日南市の大窪小学校で閉校式
152年の歴史に幕

2026年2月23日配信



【令和8年3月25日(水)午後】大窪小 最後の卒業式

3月25日(水)午後、大窪小学校の卒業式が行われます。在校生のいない、卒業生2名の式。

大窪小学校史上、

- * 最後の授業 * 最後の卒業式
- * 最後の卒業生 です。

参加したい方は24日(火)までに大窪小へご連絡ください。

時間	主な日程
13:20~	卒業生登校、受付
13:58~	卒業生入場
14:00~	卒業式
15:20~	卒業生の写真撮影ほか

* 昨年度の卒業式の様子



式次第

卒業生入場	7 別れのことば
一同礼	並びに卒業証書授与
1 開式のことば	(1) 成長の振り返り
2 国歌斉唱	(2) 感謝の言葉
3 学校長式辞	(3) 卒業証書授与
4 教育委員会告辞	(4) 卒業の歌
5 来賓紹介	8 閉式のことば
並びに祝電披露	一同礼
6 卒業記念品贈呈	卒業生退場、校歌斉唱

【お知らせ;閉校記念誌について】

- * 閉校記念誌は、[大窪地区内100戸×4部]と[教職員他100部]と仮定して500部発行しました。必要な方は学校へおたずねください。

